

本資料及び資料に含まれる第三者著作物を再使用する場合、  
利用者は、それぞれの著作権者より使用許諾を得なくてはなりません。

思索と言語

## 言葉を科学する：人間の再発見

奥 聡

### Day 12: 「意味」の再発見 (2)

1. 意味合成の規則
2. 内容語と機能語
3. 疑問詞・普遍量化詞・束縛変項

#### Pre-class work 12

(B)

(C) 次のうち先週の授業で、論じたことに当てはまらないものを2つ

#### 1. 意味合成の規則

- (1) 「机」の意味特徴
  - a. 足があり天板があり、その上で人が何かを行う家具
  - b. 仕事や勉強に使う
  - c. 食事にも使う
  - d. 足がないものもある
  - e. 段ボール箱である場合もある...
- (2) 「作る」の意味特徴
- (3) ほぼ同じ意味特徴を共有しているが、細部のイメージには個人差ありうる

#### Class Work 12-1: 「～は ... です」の意味機能

- (4) 「机」 + 「を」 + 「作る」
- (5) 意味合成の規則  
(4)では、「机」は作られる対象として解釈される
- (6) この意味合成の規則に個人差はありますか? Yes / No?

- (7) 太郎は地下鉄で大学に来た
- (8) a. 意味の共通理解  
「太郎」が動作主、「地下鉄で」が手段、「大学に」が目的地  
「来た」が行った動作（発話時点より前に終わっている）
- b. 個々の単語の意味のイメージは微妙に違うかもしれないが、通常共通理解には支障はない（誤解が生じることもありうる）
- c. (8a)が得られるのは、意味合成の方法が共通だから
- (9) 平叙文+「～の？」の意味合成規則  
「太郎は地下鉄で大学に来た」+「の？」  
平叙文で述べられている内容が正しいかどうかを聞き手に尋ねる意味機能
- (10) a. 個人差はありますか？  
b. 子どもはどうやって覚えるのか？  
（同じ言語共同体でも個々人の具体的言語経験はばらばら。にもかかわらず獲得する意味機能に個人差がないとしたら、…）

## 2. 内容語 content word と機能語 function word

- (11) 内容語 content word
- a. 名詞、動詞、形容詞、副詞など
- b. 数は無限、常に生産されている (open class words)
- c. 話者によってその量と内容に差がある
- d. それぞれの語の意味特徴も微妙な個人差がありうる
- (12) 機能語 function word
- a. 助詞、時制辞などの語尾形態素、疑問詞、後置詞・前置詞、数量詞 (every, some, many, most)、代名詞、指示詞 (こ・そ・あ) など
- b. それぞれ数は有限 (closed class words)
- c. 基本的にどの話者も同じ
- d. それぞれの語の意味機能に個人差はないように思われる
- (13) 「～は...です」の意味機能  
「～の？」の意味機能  
「～を」の意味機能  
「なぜ～の？」の意味機能 (理由を尋ねる)

### Class Work 12-2

子どもを対象とした実験で、存在しない架空の単語を教える、ということをして倫理上問題ないだろうか？

## 3. 疑問詞・普遍量化詞・束縛変項

- (14) 疑問詞の意味機能  
「何を ... の？」は、文の中でどのような意味機能を果たす言語表現といえるか？  
例： 太郎は、何をたべたの？  
君は、何を作ったの？  
花子は、何を読んでいるの？  
次郎は、康子に何をあげたの？

- (15) 「何を ... の？」の意味機能  
Xに入れると、次の文が真となるような X の正体を教えて。  
「太郎は X を食べた」「君は X を作った」「次郎は康子に X をあげた」 etc.

**Mental exercise** : 「何を」の意味機能、他には？

- (16) a. 個人差がありますか？  
b. 子どもはどうやって覚えるのか？  
(同じ言語共同体でも個々人の具体的言語経験はばらばら。にもかかわらず獲得する意味機能に個人差がないとしたら、…)

< 普遍量化詞 >

- (17) a. Every boy came to the party.  
b. どの男の子も宿題を忘れた
- (18) 普遍量化詞 (universal quantifier)  
a. every  
b. どの .. も
- (19) 「どの ... も」の意味機能は？
- (20) 普通の名詞句と異なり何かを指示するわけではない。
- (21) 状況：今教室に男の子が 8 人、女の子が 5 人
- (22) もし、「どの男の子も」という言語表現が、教室にいる男の子全体の集合を「指示する」言語表現だとしたら？次の文で、「男の子の数が女の子の数よりも多い」という意味になるはず。
- (23) このクラスでは、どの男の子も、女の子より数が多い ???
- (24) 「どの男の子も」は、このクラスの男の子全体の集合を指すわけではない。
- (25) では、「どの男の子も」(あるいはもっと一般的に「どの X も」)の意味機能は？
- (26) どの男の子も宿題を忘れてきた
- (27) どの個人を選んできても、それが「男の子」であれば、\_\_\_\_\_に入れると  
「\_\_\_\_\_ 宿題を忘れてきた」が正しいことを述べていることとなります
- (28) 「どの X も」を含む肯定文は、その部分にどの個体 X をを選んできて入れてもその文が正しいことを述べていることになる、という意味機能を持つ
- (29) 「どの X も」の Xに入る名詞の意味は、微妙な個人差があるかもしれない

- (30) 「どの X も」という普遍数量詞表現の意味機能に、個人差はある？

<束縛変項>

- (31) 束縛変項 (bound variable)
- (32) a. どの男の子も、自分の自転車を洗った  
b. どの男の子も、自分の自転車を洗わなかった
- (33) 連動読み (bound variable interpretation)
- 男の子 A —— A の自転車を  
男の子 B —— B の自転車を  
男の子 C —— C の自転車を  
....
- (34) 「自分」は普遍量化詞表現「どの男の子も」に束縛 bind された解釈を受ける  
(\*注意：日本語の「自分」にはこれ以外の意味機能もあるが、ここでは束縛変項としての「自分」意味機能にのみ着目)
- (35) 束縛変項としての「自分」の意味機能に個人差はある？
- (36) 子どもはどうやって、束縛変項としての「自分」の意味機能を獲得したのか
- (37) 「どの X も」や「自分」は、かなり抽象的で複雑な意味機能を持つ  
この意味機能の言語知識が母語話者に共通だ (個人差がない) としたら、どうやって身につけたのだろうか？ (個々人の言語体験はばらばらなのに)
- (38) 生得説の立場からの見解  
疑問詞の機能意味概念、普遍化詞の機能意味概念、束縛変項の機能意味概念を子どもは生得的に持っている (身につくようにできている)  
言語獲得は、すでに持っているその概念が、自分の母語でどのような発音の言語表現であらわされるのかを学ばばよい  
英語なら：what, every, ... (代名詞・再帰代名詞) など  
日本語なら：「何...の?」「どの...も」「自分」など

## 5. まとめ

1. 意味合成の規則：個人差はないかも。(どうやって身に付けた?)
2. 内容語と機能語：前者は open class (個人差あり)、後者は closed class (個人差なし?)
3. 疑問詞・普遍量化詞・束縛変項：意味機能を獲得できるようにできている

## Homework Assignment 12

\*WebTube にログインして、「言葉を科学する」のクラスに入り、「12-HW12 (言葉科学)」を期限までにやりなさい。(水曜日午後 9 時：2014 年 1 月 15 日) (次回授業は 1 月 16 日)

<https://webtube.c11.hokudai.ac.jp/>